

## 平成29年度 事業報告

### 1、 総括

障がい者アートを福祉の原点を守りつつ、自立に役立つ手法への転換を目指した。すなわち福祉による自立の方法を探った1年であった。

より全国的な規模での告知活動を展開し、本格的な福祉への第一歩となった。それを核にして、次年度への大きな発展につなげた。

特にNHKニュースウオッチ9で当法人が全国に紹介されたことからうまれた凸版印刷㈱との協力体制が次年度 大きな発展につながっていくように思える。起爆剤になったのは映画「たたら侍」地元の財産をもっと生かしたい。

### 2、 組織の状況

#### ① 平成29年度末会員数

正会員 48 賛助会員 37 計

#### ② 理事数・理事会開催数

理事 6人 監事 2人 開催数 2回

### 3、 事業実施の成果

#### A) 就労継続支援B型事業所“わんぱく大使館”事業

【平成30年4月1日（指定）】 現在 25名（定員20名）

平成24年4月1日から行ってきた障害福祉サービス事業者（B型事業所）としての指定が平成30年3月31日で切れることから、今後も継続したB型事業が行えるよう更新の手続きを行った。その結果、無事、指定継続に結び付けることができた。

利用者数 25名 定員20名を超える規模に成長した。

ただ、体調の具合で 欠席がちな利用者も多く、安定的な利用者確保が急務。さらなる利用者の獲得に努力したい。

#### 利用者数の状況

定員20名

月度	(平成29年4月～平成30年3月)											
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
利用者数	24	23	21	21	21	22	23	24	24	25	25	25
月平均利用	18	18	17	18	17	20	20	20	20	19	17	17
充足率 (%)	90	90	85	90	85	100	100	100	100	95	85	85

#### 就労支援事業収入と平均工賃額

月度	(平成29年4月～平成30年3月)											
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
就労支援事業 収入 (千円)	326	445	416	350	310	343	320	533	1,032	284	285	286
平均工賃 (千円)	22	13	20	15	15	15	13	15	15	13	14	14

## B) アート展の開催

- 1、一畑百貨店アート展：6F催事場での開催。8月3日～10日「ディスカバーしまねアート展イースト」として開催。
- 2、アールムシケワカミーアート展5月15日～21日テーマ「たたら侍」
- 3、第7回チャレンジドアートエキスポ2017開催。  
10月13、14、15、3日間 エクアドル大使館後援、エクアドルカフェ  
設営、福島からの出展あり。  
ギャラリー： 727名 コンサート： 228名
- 4、壁画アート：スーパー「よってこや」12月19日～2月末、お店閉店の  
ため終わり。
- 5、伊藤医院 駐輪場壁画アート 年4回実施（季節ごと）
- 6、可能性アートプロジェクト 凸版印刷株の新入社員向けの教育アート展開催、  
2018年3月末から1か月間 凸版ホールでの開催
- 7、可能性アートプロジェクト 第2弾 2019年3月末開催決定

## C) 計画相談支援および障がい児相談支援事業

【平成27年9月 1日（指定）】 出雲 / 現在 8名

【平成28年10月24日（指定）】 米子 / 現在 110名

利用者確保するためにも重要な事業であり、現在の相談支援事業の在り方に一石を投  
じることのできる分野である。すなわち“真の福祉”の在り方を問う重要な事業である。  
今後も利用者の確保に努めたい。

## 利用者数の状況

## ・出雲

月度	(平成29年4月～平成30年3月)											
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
利用者数	5	6	7	7	7	8	8	8	8	8	9	9
サービス提供実施回数	4	5	6	6	6	7	8	7	6	7	8	6

## ・米子

月度	(平成29年4月～平成30年3月)											
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
利用者数	20	22	31	37	43	51	60	61	63	69	75	90
サービス提供実施回数	15	16	12	17	18	15	21	20	9	10	5	9

## D) 共同生活支援“わんぱくハウス”事業

【平成29年4月1日（指定）】 現在 3名（定員6名）

障がいがある人たちが安心して生活できる場として、平成29年4月1日からスタート。

土江理事長をはじめ島根県、出雲市などからの協力で新築の建物をたてることができた。また、土地を格安に借りれたこともあり、1年間無事運営することができた。定員6名ではあるが現在3名、（うち1名が県外）の利用者を確保することができた。次年度はさらなる利用者の獲得に努めたい。

## 利用者数の状況

定員6名

月度	（平成29年4月～平成30年3月）											
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
利用者数	2	2	2	2	2	3	3	3	3	3	3	3
月平均利用	2	2	2	2	2	3	3	3	3	3	3	3
充足率（％）	30	30	30	30	30	50	50	50	50	50	50	50

## E) 第7回チャレンジドアートエキスポインジャパン2017無事終了計各参加

○ギャラリー 727名 ○コンサート 228名

エクアドル大使館の後援、エクアドルカフェの開催

## F) わんぱく学園事業

【出雲市からの委託事業】

共生の町づくりの普及、そして、障がい者の情報 県内の障がい者グループとの情報交換や相談の充実の場として年間40回（延べ300名が参加：主に障がい児が参加、遠方より年配者も参加）行うことができた。

## 4、事業の実施に関する事項

事業名：障がい者の感性をいかした音楽・芸術創造事業

## ① 事業内容：「ゆめのつばさ10th」CDの制作・販売

実施日時：平成29年10月

実施場所：ビッグハート出雲

従事者数：10名

受益対象者の範囲・人数：80枚

## ② 事業内容：障がい者の自立を支援するコンサート「第10回ゆめのつばさコンサート」

第10回ゆめのつばさコンサートを開催。

従事者 15名

受益対象者の範囲・人数：市民 260名

- しかしながら、契約アーティスト制度の活用により、広く可能性を追求できるシステムを構築している。平成29年度現在、島根、新潟、鳥取、神戸のアーティストが参加している。
- NHKニュースウォッチ9の反響：5月19日放送
  - 1、凸版印刷(株)との接点生まれ、可能性プロジェクトが始まり、お寺アート展、ゆめのつばさコンサートへのフレーベル少年合唱団の参加につながった。  
凸版印刷(株)へのアートの提供から、東京での定期的アート展の開催につながった。  
チャレンジドアートコレクションの協賛アート展として定着を図りたい。
  - 2、この放映によって新たな利用者の入所につながった。有能なアーティストを確保できた。